

北九州市に「光化学スモッグ注意報」発令！

—10年ぶり今年二度目の注意報—



北九州市は、5月8日、9時15分、今年で二度目となる「光化学スモッグ注意報」を発令した。

同市で、「光化学スモッグ注意報」が八幡東区に9時15分、小倉南区、八幡西区、若松区に11時15分、ついで13時15分に小倉北区、戸畑区、門司区に出され全市が発令下となった。

今回の注意報は、平成9年の4月13日にだされて以来、10年ぶりの先月4月26日続く、今年二度目の注意報となった。

また、このたび出された「光化学スモッグ注意報」は、熊本県天草市、長

北九州市八幡東区荒手町から「洞海湾」を撮影 5月8日 17時30分撮影

崎県佐世保市、福岡県福岡市、山口県小野田市、同宇部市、広島県福山市におよぶかなりの広範囲となった。

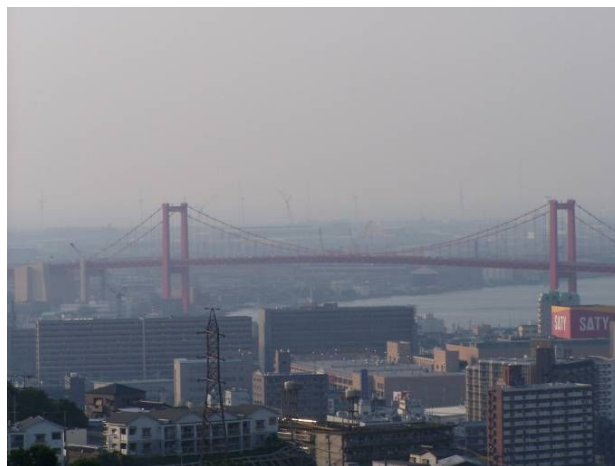
北九州市環境保全課によると、「今回の“光化学スモッグ”の発生の原因ははっきりとしないが、以前のような公害によるものではなく、空気中に含まれている窒素酸化物や炭化水素に紫外線があたり、光化学反応を起こしオゾンに変化したものである。また、雨が降っていない、気温が高く、空気の流れが少ないときや、紫外線の量が多いときにも発生する。今回は、広い範囲なので大陸からの影響なども考えられる」と語った。

同市は今回空気中のオゾン濃度が“0.120ppm”以上となり、それが続くと判断したため今回の発令を出したとしている。

なお、同日21時に注意報は、解除された。



同市戸畑区椎ノ木町から小倉北区を撮影 17時40分



同時刻頃、荒手町から若戸大橋、響灘を撮影